



東海の 弥生の フロンティア

平成17年 4月26日(火)～6月26日(日)

- 主催：大阪府立弥生文化博物館、文化庁、日本経済新聞社
- 後援：テレビ大阪、(財)大阪21世紀協会
- 協賛：堺女子短期大学、(株)国際交流サービス

◎考古学セミナー◎ 場所：1階ホール 時間：2時～4時(受付午後1時～)
※全回参加者には修了証と記念品を贈呈いたします。

- 第1回/5月8日(日) 講師：中野 宥(静岡市立登呂博物館)
「新しい登呂遺跡のすがた ―ひとりぼっちでなかった登呂のむら―」
- 第2回/5月22日(日) 講師：設楽博己(駒澤大学助教授)
「東日本 弥生人の心をえがく ―弥生時代がはじまるころ―」
- 第3回/6月5日(日) 講師：安藤広道(慶應義塾大学助教授)
「東海と関東 ―人・物・情報の動き―」
- 第4回/6月19日(日) 講師：水野正好((財)大阪府文化財センター理事長)
「東海地方の銅鐸に倭国の政治を見る」
- 第5回/6月26日(日) 講師：赤塚次郎(愛知県埋蔵文化財センター)
「狗奴国の幻影を求めて」

●本館学芸員による展示解説＝毎週日曜日と祝休日(午前11時～ 特別展示室にて)



大阪府立弥生文化博物館

- 開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ●休館日：毎週月曜日
- 入館料：一般600円(480円)、65歳以上・高大生400円(320円)、小中学生・障害者手帳を持つ方は無料(〔 〕内は団体料金・ただし20名以上)
- 所在地：〒594-0083 大阪府和泉市池上町443 【TEL】0725-46-2162 【FAX】0725-46-2165 <http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>
- 交通：JR阪和線[信太山]駅下車 西へ約600m、南海本線[松ノ浜]駅下車 南東へ約1500m 【駐車場】普通車80台、大型バス7台(無料)

I 縄文的な社会と 初期水田稲作集落

弥生前期、濃尾平野で水田稲作がはじまる頃の集落と、そのとなりの三河の縄文的な集落を紹介します。



東海最古級の木製農具
【愛知県春日井市・松河戸遺跡】



縄文土器の伝統が残る条痕文土器
【愛知県豊川市・麻生田大橋遺跡】

北部九州に伝わった弥生文化は、順調に東海西部の濃尾平野まで伝わりました。濃尾平野は、東海東部から関東への本格的な弥生文化波及の発信源となった地域です。特別展では、前期の濃尾平野と、弥生文化が東海東部と南関東にひろがる様子を紹介します。また後期の東海弥生文化には、西日本にはみられない形の青銅器や墓などが現われることもあわせて紹介します。

東海の 弥生フロンティア

平成17年
4月26日(火)～6月26日(日)

II 東海西部からひろがる 弥生文化

濃尾平野に定着した弥生文化は、中期になって本格的に東海東部から関東地方にひろがります。各地で水田稲作がおこなわれた証拠である農具や、精神生活がうかがい知れるまつりの道具を紹介します。



関東の木製農具
【神奈川県逗子市・池子遺跡】



パレススタイルと呼ばれる優美な土器
【愛知県清洲町・朝日遺跡】

III 東海のまつりと 前方後方墳

弥生時代後期、東海には西日本に見られない特徴があります。パレススタイル土器、東海の銅鐸、前方後方形の墓などを紹介します。



豊饗を祈る鳥形木製品
【静岡県沼津市・麴鹿塚遺跡】



東海の銅鐸
【静岡県細江町・悪ヶ谷銅鐸】

主な展示品

- 東海最古の玉造り資料(朝日遺跡)
 - 伊勢湾沿岸一帯で使われた磨製石斧(宮山遺跡)
 - まつりに使われた船・武器形木製品(角江遺跡)
 - さまざまな形の鳥形木製品(麴鹿塚遺跡ほか)
 - 壊された近畿の銅鐸(栴1号銅鐸)
 - 弥生墳墓の破砕鏡(美濃観音寺山墳墓ほか)
 - 特徴ある紋様の東海の鏡(東之宮古墳)
- *総出品点数約370点(重要文化財3点を含む)